

第1回事務所主催『初任者研修』 （模範授業参観）

今年度の事務所主催の初任者研修は、4年ぶりに学校に集合して、授業参観や研究協議ができるようになりました。小学校を3地区（東・中・西地区）、中学校を2地区（東・西地区）に分け、3回の事務所主催の初任者研修会を実施します。

第1回は、各地区の模範となる先生の授業参観や講話から、教職員としての意識や実践意欲を高めることを目的として各地区で7月または9月に実施しました。小学校の東地区と西地区は7月の台風のために9月にビデオ視聴という形になりましたが、模範授業実施校に出向き、模範となる先生方の授業や講話にふれることができたことは、初任者にとって有意義だったようです。

模範授業の先生方の教育への情熱、創意工夫、学び続ける姿勢など多くのことを学び、翌日からの学級経営や授業づくりへの実践意欲の高まりを初任者の表情や反応からも感じることができました。

また、研修の後半は初任者同士の情報交換も行き、それぞれの取組や課題等について話し合うことができ、初任者同士のつながりもできたようでした。

模範授業を引き受けていただいた授業者のみなさま、学校のみなさまには、授業の準備や会場設営等でたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



グループ協議で、参考になったことや、もっと知りたいことを出し合います。



研究協議の司会、講師への謝辞、受付、準備等を初任者で分担し、運営しています。

【初任者の感想】

・明確な学習規律のもとに学習活動に取り組んでいる子供たちの姿や、主体的に活動ができるための説明、教材準備、声掛けなど、たくさんのことを学ぶことができました。（小学校東地区）

・同じ初任者の方と話をすることで、参考になる話や共感する部分もたくさんあったので、とても有意義な時間となりました。（小学校中地区）

・子供が「楽しい」「もっと考えたい」と思えるように、子どもの「？」をめあてにつなげたり、深く教材研究をしたりしようと思いました。（小学校西地区）

・板書やワークシートは、授業の流れと一致させておく必要があることがわかりました。授業の後に「今日の内容」が分かるように残しておくことを、今後の授業で取り組んでいきます。（中学校東地区）

・道徳の授業に少し苦手意識があったのですが、質問にもたくさん答えていただき、早く学校に戻ってやってみたい、実践したいという気持ちが高まりました。本当に貴重な機会だったと思います。（中学校西地区）

2学期スタート！ 意図的、計画的な学級経営を

8月25日から9月1日にかけて2学期が始まり、2～3週間ほど経ちます。どのような2学期のスタートでしょうか。2学期は、学校行事も多く、子供同士の人間関係も広がる時期です。充実した2学期にするためにも、9月にしておくことは大きく2つです。

① 学校生活のリズムを早く戻すこと

② 目標やめあてをもたせること

具体的な取組を5つ紹介します。これからでも取り組めるものがあれば、参考にしてください。

○一人一人の変化をつかむ

○集団活動の楽しさを味わわせる

○学級のルール、組織を再確認する

○新しい目標やめあてをもたせる

○教師の「2学期のプラン」を語る

（参考：『集団を育てる学級づくり12か月』図書文化）

事務所では、よりよい学級集団づくりや、個別へのよりよい関わり方などについても、一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。